

守れ9条!

こんにちは! 日本共産党の

# 大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2007年1月18日

〒319-1112

東海村村松 2401-2

oona\_toukai@yahoo.co.jp

電話・fax 029-284-0761

## 「議員定数調査特別委員会」が23日、各委員の意見集約

現在東海村議会では、共産党以外の4会派（みらいの会、平成クラブ、とうかい村民クラブ、公明党）の提案により「議員定数調査特別委員会」が設置されています。2005年12月議会以降、調査を進めてきた結果、この23日に各委員の意見集約を行う予定です。日本共産党会派からは、永井一郎議員が委員として出席しています。今週は「定数削減」について考えてみます。

**問い** 地方議会の定数削減があいついでいますが、何にもとづいているのでしょうか。（千葉・一読者）

**答え** 2003年いっせい地方選挙では、議員定数を削減して選挙をおこなった自治体が、半数近くにのぼりました。

その要因の一つに、1999年の地方自治法の「改正」で、地方議会の議員定数の上限を、これまでの法定数から大幅に減少させたことがあります。この「改正」は、いっせい地方選挙に照準をあわせて2003年1月1日からの施行となっていました。

同時に、「改正」された上限数をさらに下回る定数に削減している自治体が少なくありません。こうした議員定数削減の背景には、国が地方自治体にもちこんできた住民犠牲の「地方行革」＝「自治体リストラ」の流れがあります。国は公共事業を自治体におしつけてきましたが、そのために膨らんだ借金のツケを住民に負わせようというものです。地方議員定数をめぐっても、国が、全国の自治体に94年、97年の二度にわたって出した地方行革指針で、地方議会について「自主的に組織・運営の合理化等をすすめること」を求め、事実上、定数削減の圧力をかけてきました。

地方議会は、住民のもっとも身近な議会として、住民の声を自治体に反映する住民の代表機関です。地方議員の大幅な定数削減は、地方自治体における議会制民主主義を切りちぢめ、結果として自治体を住民から遠ざける役割を果たすものといわなければなりません。

いま政府が合併おしつけなど地方の切り捨てをすすめるようとしていることに対し、自分たちの地域、自治体は自分たちで守り発展させたいという住民の願いが広がっています。こうした住民自身によるまちづくりをすすめていく上で、議会の役割を十分に発揮できるようにしていくことが求められているのではないのでしょうか。（平）

〔しんぶん赤旗 2004・1・21(水)〕

## 「日の丸・君が代」強制 思想・良心の自由考えるシンポ

小・中・高等学校での卒業式、入学式のシーズンが近づいています。「日の丸」「君が代」について、児童・生徒も教師も、そして保護者も、強制ではなく個人の「思想・良心の自由」が認められることが大切になっています。

日本弁護士連合会と東京の三つの弁護士会が13日、東京都内で「思想・良心の自由の現代的意義を考える」をテーマにシンポジウムを開催し、約二百人が参加しました。学校での「日の丸・君が代」の強制をめくり、人権救済を求める訴えが相次いでいることを受けて開かれたものです。  
(2007.1.14 付しんぶん赤旗紙面から)

シンポジウムでは冒頭、日弁連の「『日の丸』『君が代』強制問題にかんする検討プロジェクトチーム」から、一九九九年の「国旗・国歌法」制定後この問題で教師や生徒などから日弁連や地方の弁護士会への人権救済申し立てが、十二件に上っていることが報告されました。

関西学院大学教授で精神科医の野田正彰さんが基調講演。「人間は自由を本質とする動物」であり、強制が身体や精神にどのような苦痛を与えるかを語りました。

野田さんと、日弁連子どもの権利委員会の元委員長である中川明・明治学院大学法科大学院教授、西原博史・早稲田大学教授、元都立高校校長の渡部謙一さんの四氏によるパネル討論も行われ、都立学校での強制の実態や、改悪された教育基本法の問題、強制が子どもに何をもたらすのかなどをめぐって議論されました。

現職の都立高校教師と昨年都立高校を卒業した大学生が発言。「子どもが自ら考える自由なければ民主主義は守れない」「いろいろな国からの入学者がいて、さまざまな文化のすばらしさを学んだ高校だったが、その卒業式が変えられてしまった」と語りました。

### 水道料金引き上げのための条例、強引に12月議会を通過

「引き上げ反対」の住民請願が615名の署名を添えて提出されました。しかし、建設経済環境委員会で請願代表の大森對子さんが趣旨説明を行っただけで審議未了。引き上げ条例案は賛成多数で可決となりました。大切な水に関する問題を、議会に説明しただけで短期間に条例化するなどあってはならない事です。住民に説明がなかった事などへの怒りを、住民の代表である議会が一致して村当局に示せなかったのは残念です。住民の立場で行政をしっかりチェックする議員(会)の役割が、いっそう重要になっています。